

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第2回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和5年5月16日（火）午後6時30分から午後7時26分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博 田中裕子（副会長）、
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、松澤優作、丸山佳子、山田 孝、
吉田 実（副会長）、吉田義昭、渡邊康子、渡部忠行（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林所長、井守副所長、渡邊係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【渡邊係長】

・会議の開会を宣言
・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

・会長挨拶

【渡邊係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

- ・会議録の確認：谷委員に依頼

次第 3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」に入る。各分科会から説明する。

○観光分科会

【吉田副会長】

春日山の視察研修を 5 月 27 日土曜日の 9 時から 12 時に行う予定。昨年も同時期に行い、今回が 2 回目となる。

出席予定者は、私と吉田義昭委員、渡部委員、岡本委員、田中副会長、藤田委員、白浜委員、谷委員、丸山委員の 9 名。

昨年は春日山の本丸まで上がったほか、林泉寺やものがたり館などを見てきたが、今年は春日山のインフラについて、道路や駐車場の整備に係る意見書を出す予定があるため、谷愛宕にある愛宕谷公園で整備されている駐車場なども見てくる。

また、今日の上越タイムスに出ていたが、市民団体が、愛宕谷公園から地域活動支援事業で整備した春日山神社の境内まで上られる古道の確認をする。

春日山神社への上がり口の一つが愛宕谷公園にもあるが、金をかけて整備したのに、ほとんど利用されていないようだ。

そのような現状を確認して、今後どうあるべきか、ということを考えていきたい。

ルートは、愛宕谷をスタートして、春日山神社境内へ上がったら、春日山旅館から寄贈された謙信の銅像を見学し、春日山に向かって東の杉林について、景観のために伐採したい提案箇所を確認する。その後、大手道から大手道公園へ下り、埋蔵文化財センターに到着後、出席者から意見を伺うというスケジュールを組んでいる。

足等に不安がある委員については、市の車で移動し、負担のかかる移動は避けるよう配慮したい。

天候については、小雨程度であれば実行したい。

ガイドはつけず、今回は私達が知っている範囲で見てきたい。

それから、資料 1-2 については、春日山付近の駐車場の駐車可能台数を私が調査した結果である。

昨年視察した松代城や上田城には、すぐ近くに駐車場があるが、春日山は山城であることが特徴で、制約があるため近くに駐車スペースがない。資料 1-2 の 1 番、2 番が

山に近いところ。台数も限られていて、これでは集客しても駐車場がなく、道路が混雑する原因になってしまうため、改善策を検討するための資料として用意した。

昨年も提案という形で意見を一つにまとめたが、例えば駐車場整備や、春日山城周辺のフラワーパークなど、個々のテーマに分けると全部で5、6件ぐらいになる。

6月から7月頃に、一つ一つ意見書にまとめるため、今日の分科会で詰めていきたい。

【太田会長】

春日小学校の児童は、春日山に係る学習で、3年生になると春日山城の本丸に上がり、4年生でその周辺の愛宕谷公園や、大手道の方から上がったたりして、様々な学習のフィールドとしている。

また、高志小学校は春日山から離れているため、関川などの川の方を学習しているが、中学生になった時には春日山にも関心を持っているようなので、子供たちへも周知していければいい。

観光に関しては以上でよろしいか。

(発言なし)

○安全安心分科会

【本多委員】

4月23日に防災士と意見交換の場を持ち、支部を立ち上げることが決定した。資料2に記載のとおり、5月20日に設立総会を実施し、会員の8割ぐらいが出席予定。総会で支部長以下のメンバーを決めて承認いただく。

【渡部委員】

防災士会の会費1,000円を5月末までに支払わなければならない。規約を読むと、支払わなくてもよいととれるのだが、5月に請求書が来ているので確認したい。

【太田会長】

5月20日の春日支部設立総会で確認していただきたい。

【本多委員】

このほか、冬になる前に通学路の安全確保の話も出ると思う。設立総会後に次のテーマを考えながら頑張っていければと思う。

○福祉分科会

【吉田義昭委員】

先週、資料3を春日区19町内会長に配布した。今日も町内連絡協議会の佐藤会長か

ら、「町内会長連絡協議会としても、各町内会長からも出席いただきたいという声かけを行った」との連絡をいただいた。この活動を広く知っていただくことが一番重要なので、地域協議会委員も、都合のつく方はできるだけ家族を連れて出席してほしい。

【谷委員】

この事業は、地域独自の予算を活用している。

実行委員会が学校と詳細を詰めて、現在スケジュールの調整をしている。今年は高志小学校が出演できないが、ほたる保育園とミュージックレインボーという団体が出演する。このクラブは地元の吹奏楽バンドである。

明日、実行委員会を開催して、そこで詳細がほぼ決まる。

今年は前日から文化会館を借り、練習や会場準備などをしなくてはならない。特に今年は大学生と中学生の合同演奏が二つある。そして合唱部も大学生と合同で行う。

今までになかった合同演奏があるので、それらも楽しみにしながら見ていただきたい。

【吉田義昭委員】

町内会長連絡協議会が動いたおかげで、高志小学校、春日小学校、春日中学校が、8月のイベントを受けた時には何かやっていただけるような話を取り付けた。

佐藤会長から、このようなイベントを色々実施したおかげで、地域が全体で動き始めてきていると感じるという話もあった。我々ももっとPRして、多くの人の繋がりを広げていけるような活動にしていきたい。

【吉田副会長】

以前、春日区で、お年寄りの歌の交流イベントがあった。上越教育大学の学生とお年寄りが大学に集まり、講堂でふれあいコンサートのようなものを行った。ゴスペルチームがお年寄りの世話をしていたが、若い世代ばかりではなく、春日地区のお年寄りも何か参加してはどうか。春日山荘でもコーラスのサークルがあり、年配の人たちもここに組み込んで、さらに世代を超えたふれあいコンサートができることが理想的だと思う。

過去に地域活動支援事業を活用して上越教育大学で3回ほど行っている。そのようなことをここに盛り込んでいったらよいと思う。

【太田会長】

谷委員もふれあいコンサートの実行委員に入っているのです、参考にいただき、

三世代交流について検討していただければと思う。

ほか、意見はあるか。

(意見無し)

高志小学校などのマーチングという話もあったが、学校活動において先生方が苦勞しているという話は聞いている。中学校も部活動が地域移行になってきて、土・日は、先生方が部活動を見るのではなく、地域の人たちやクラブチームが受け皿になっているので、学校だけではなく、様々な状況が変わってきている。今後は地域連携が必要になってくるので、地域と学校を繋ぎながら活動していければよいと思う。

全体を通して意見はあるか。

(意見無し)

以上で次第 3 議題「(1) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に次第 3 議題「(2) その他」である。本日の議題のほか、報告や確認すべき事項等について発言を求める。

【吉田義昭委員】

令和 4 年度分の地域協議会の会議録公表について、事務局は努力していただきたい。

今配布した資料について、春日地区の更なる活性化を図るため、斬新な意見交換をする機会が欲しいと思い、最近のニュースから提案させてもらう。

土橋に上越市土地区画整理事業で開発されたニュータウン「はれまち土橋」の商業地と市民プラザ駐車場跡地を合わせた場所にスーパーが出店し、ドラッグストアも併設され、かなりの延床面積がある商業施設が本年 10 月にオープンするとのこと。

このニュータウンや施設ができると、春日区の人口はかなり増える。生活環境が整ってくると、一方で、高齢化により、運転免許を返納せざるを得ない高齢者が多くなり、地域によっては、高齢者の公共交通の利用を見込みバスや鉄道の運用方法が変化してくるものとする。

今回、高田地区と直江津地区の中間地点である藤巻に、えちごトキめき鉄道の駅を設置できないかということについて協議できる場が欲しいと思い調べてみた。

提案に至ったのは、糸魚川市の押上に駅が新設されたことで地域が非常に活性化したことから。

私が調べたところ、日本海ひすいラインの駅である「えちご押上ひすい海岸駅」が

2021 年に開業した。その昔、現在の駅周辺は一面の農地だったが、高度経済成長後に建物が建ち、住宅、店舗・事業所と農地が混在するエリアになった。観光面では、ひすい海岸へのアクセスがよく、糸魚川総合病院も近くにあり、糸魚川地域振興局、新潟県立糸魚川高等学校、糸魚川市立糸魚川東小学校、糸魚川市の多目的交流センター（アクアホール）、JAひすいセレモニーホールフローリアなどがあり、非常に利便性が上がってきている。そして1日の平均乗車人数も、駅ができる前は1日に上りと下りで19便しかないが、現在、高田方面へは26便あり、1日平均52人だったものが令和3年には71人と、利用者が増えている。

高齢化が進んでくると糸魚川総合病院の利用者が増えてくるので、期待しているという話があった。

そして、えちご押上ひすい海岸駅の建設にどの程度の経費がかかり、どの程度の規模で造られているかを調べた。長さ45メートルとあるが、幅2.5メートルの単式ホーム、2面2線を有する地上駅。船小屋をイメージしたデザインで、駅舎には「糸魚川市の木材で造られた待合室（糸魚川方面行）」とPRしている。事業費は6億円で、そのうち3億1千万円ぐらいを糸魚川市が拠出しているとのこと。新駅整備には幹線鉄道等活性化事業費補助（形成計画事業）を財源とし、糸魚川市地域公共交通協議会を主体として進められたという話を聞いた。

藤巻町内会長を経験した本多委員に確認したところ、宮越元市長の頃には藤巻に駅を造る構想があったと聞いた。また、書類も確認した。その頃の時代と今は全く違うので、どのような進め方をすれば結びつくのか、具現化するだけの価値があるか、そして新駅の土地確保の一番の障害が土地区画整理事業で、施工が国か県なのかの確認や、どのような制約があるか調べる必要がある。そういう調査をしないと、ただ提案ばかりしても具現化できないだろう。

そして、地域活性化に繋がることとして、どのようなことを考えられるかということや、経済的効果などの話し合いを協議会で行ってもいいのではないかと考えている。

参考までに、えちご押上ひすい海岸駅は非常に立派な駅である。バリアフリーになっていて、車椅子でも対応できるし、下り方面はホームだけになっている。

私の提案の位置は、資料にある平成30年の都市計画地図に示した。昔、駅を造ろうという話があったのはグリーン丸囲みのところ、今回の私の提案は、その下の赤色の丸の辺りにできれば理想的なだろう。

このような話し合いの場を協議会で持てればいいのかと考え提案した。

【太田会長】

吉田義昭委員から、藤巻へ新駅設置の提案があった。次回6月20日の協議会で議題について時間を設けて、この提案書の確認や、地域の人達の声を聞いていただき、情報交換、意見交換することでどうか。

【吉田副会長】

ほかにも検討課題があれば委員から出してもらえばいいと思う。前期の地域協議会で、この新駅の話が出ていたが、この周辺の圃場整備でやると手がつけられない。駐車場ができないとの話と同じかもしれないが、また次回に話してもいいと思う。

【吉田義昭委員】

提案はしたが、私が一生懸命、土地のことや、国のやり方や法律を調べているが、市からはこういう問題を調べたらいいとか、委員の皆さんからは知識や情報、過去の経緯を伺いたい。

【太田会長】

私の知る範囲で、以前に、もう少し上越教育大学寄りに資料の緑の部分に新駅をとという話があった。附属小・中学校を上越教育大学の近くに移して、そこを学園都市にしたいという話であった。なかなか実現に至らず、そのまま何となく消えてしまったので、その辺の情報がわかる方がいれば、この場でもいいし、個別に吉田義昭委員や事務局に情報提供していただければと思う。

【本多委員】

藤巻の話だが、我々の親の代からの話であり、押上の新駅の話も出た。押上は病院も移り、重要な場所なので駅が必要であった。当時の藤巻はまだ何も無かったため、押上優先で駅を造ることになった。

土地の区画整理、農地関係や国の補助金の関係などがあり、普通に考えて、こんなところに駅が出来るものかと思うが、新駅は新たに建設できるものなのかをはっきりしてからの方が、より具体的な動きができると思う。

私もその委員にも入っていないので、大体の事しかわからない。

【渡部委員】

この案件は、部会のテーマとして意見書を作ろうとしているのか。

我々は我々で活動がある。本多委員や様々な人の意見を聞くのはいいが、ここで議

論しても全然進まないと思う。テーマとしては非常にいいと思うが、余りにも大きなテーマなので、意見書までいかななくてもいいと思う。

誰がイニシアチブを取って協議するのかわからないと、難しいのではないかと。

【太田会長】

事務局はどう考えるか。

【小林所長】

私どもは地域協議会の事務局なので、皆さんがまちづくりで必要な審議だということになれば、それに抗うことはないと思う。ただ、都市基盤の整備もまちづくりなのかもしれないが、私たちに与えられているまちづくりとは、自主自立のまちづくり、自分たちで自分たちのまちの課題を解決するということであることからすると、これはとても重い課題といえる。当初から長期的なところを見据えて話を進めてきたというのであればまだしも、今までも各分科会で審議を続けてきた経過もあるし、残された任期とスケジュールのことも考えると、まとめるのは難しいのではないかと。

それをここでニュートラルにして、また新しい議論を進めるということが得策なのかという考えはお伝えしておく。

【田中副会長】

この会議の前に、三役で打ち合わせがあるが、今回の件については、その時にも出なかった話。そのため、私たちが今後の議題にするかどうかということについて討議していない。事務局の判断を聞きたい。

【渡邊係長】

吉田委員から話を伺ったのが三役との打合せ後であった。

提案の頭出しをしたいということであったため、本日この場で話を伺い、資料も、本日初見のまま委員に配布し、皆さんと同じ状態で話を伺った。本日提供できるこちらの手持ちの情報は、整理ができていない状態である。

【太田会長】

私もこの資料を初めて見たので、吉田委員の個人の考えとして、話は一旦預かる。

次の三役の事前打ち合わせで詰めて、6月の協議会で議題に上げられるものなのか、今回は保留にして、ちょっと時間をかけ、また次の任期の人たちに引き継ぐものなのか、一度三役に預らせていただいてよろしいか。

議題に上るものであれば、次回の会議案内の次第に掲載するし、こちらの扱いにつ

いて決まったことについて、次回の協議会で報告させていただく。

【吉田義明委員】

了解した。

【太田会長】

以上で次第3議題「(2) その他」を終了する。

次に次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【渡邊係長】

- ・次回の協議会について説明。

— 日程調整 —

- ・次回の地域協議会：6月20日（火）午後6時30分から 市民プラザ（予定）
- ・内容：（自主的審議事項）各分科会における審議の状況について

【太田会長】

以上で次第4「その他」の「(1) 次回開催日の確認」を終了する。

次に次第4「その他」の「(2) その他」に入る。事務局より説明を求める。

【井守副所長】

地域自治推進プロジェクトのヒアリング調査の実施に当たり、地域協議会委員に協力を依頼する。

【太田会長】

そのほか、何かあるか。

（発言なし）

- ・会議の閉会を宣言

※閉会后、必要な分科会のみ、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。